

公共施設のあり方に関するアンケート調査結果の概要

現在市では、老朽化が進む公共施設が増加する中で、将来の人口動向等も見据えながら、施設の老朽化対策と総体的規模の適正化を進め、将来にわたる財政負担の軽減と平準化を図るため、今後10年間の個々の公共施設の維持・廃止・更新など具体的な方向性を定めた実行計画を策定することとしています。

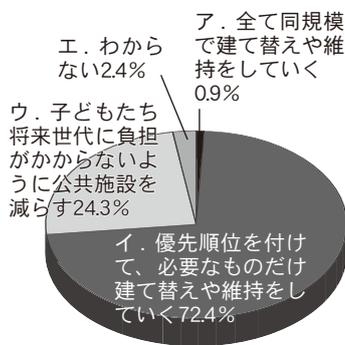
この計画策定の基礎資料とするためアンケート調査を実施しましたので、この概要についてお知らせします。なお、アンケートの結果については、市ホームページでも公開しています。

○市民向け

・実施期間：9月26日～10月20日 ・実施方法：広報折込チラシによるアンケート用紙の配布、主な公共施設へのアンケート用紙配置と回収箱の設置等 ・回収件数：214件

今後の公共施設のあり方について

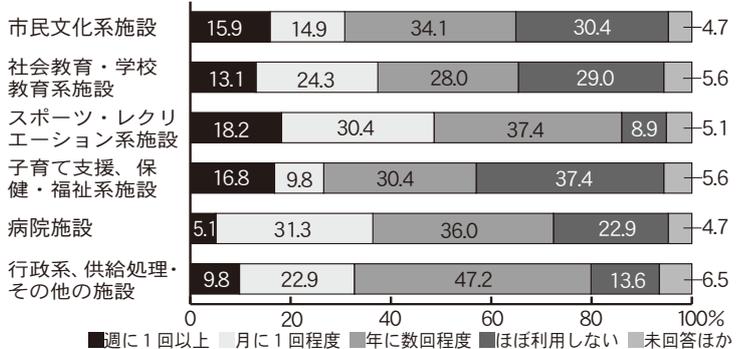
今後の人口減少を踏まえ、厳しい財政状況が続くことが予想される中、今後の公共施設のあり方について、どのようにすべきと思いますかとの質問に対しては、「優先順位を付けて、必要なものだけ建て替えや維持をしていく」が72.4%で最も多く、次に「子どもたち将来世代に負担がかからないよう公共施設を減らす」が24.3%



なものだけ建て替えや維持をしていく」が72.4%で最も多く、次に「子どもたち将来世代に負担がかからないよう公共施設を減らしていく」が24.3%で続いています。

公共施設の利用頻度

公共施設の利用頻度について、施設分類別に質問した結果、ほとんどの分類で、「年に数回程度」との回答が最も多く、続いて「ほぼ利用しない」との回答が多い傾向にあります。また、「スポーツ・レクリエーション施設」及び「病院施設」については、「月に1回程度」利用が2番目に多い回答となっています。

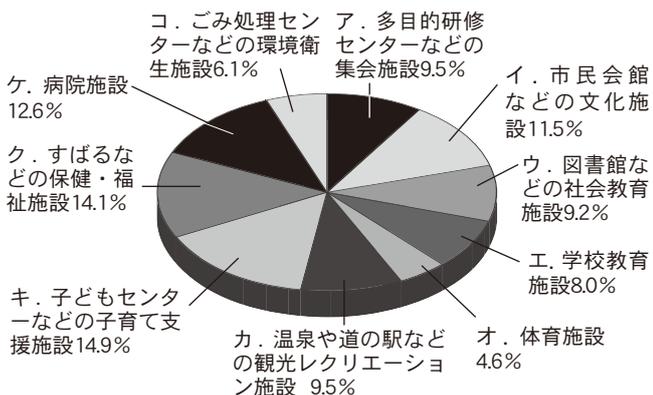


○団体向け（主に公共施設を利用して活動していると想定される91団体）

・実施期間：10月12日～10月25日 ・実施方法：郵送による配布、回収 ・回収件数：61団体

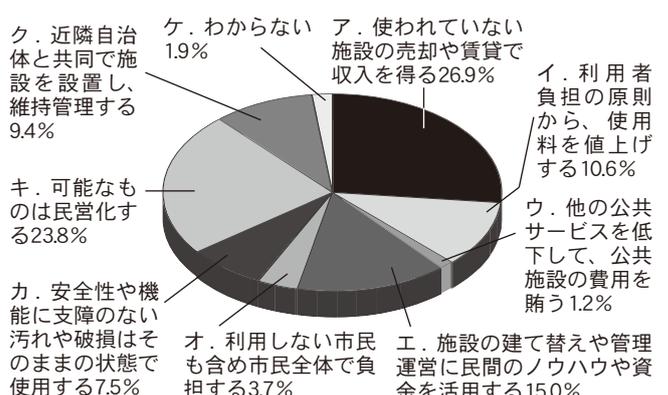
将来にわたって維持すべき施設

廃止や統合をせずに将来にわたって維持すべき施設を5つ挙げてもらいました。その結果、最も多かったのが「子どもセンターなどの子育て支援施設」で、次に「すばるなどの保健・福祉施設」、「病院施設」の順になっています。また、これに続いて「市民会館などの文化施設」や「多目的研修センターなどの集会施設」、「温泉や道の駅などの観光レクリエーション施設」も比較的多く選択されています。



施設に係る費用が不足する場合の取り組み

公共施設の建て替えや維持管理に必要な費用が不足する場合に、どのような取り組みを進めるべきか、3つを選んでいただきました。その結果、「使われていない施設の売却や賃貸で収入を得る」が最も多く、続いて「可能なものは民営化する」が選択されています。また、これらに続いて「施設の建て替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する」や「利用者負担の原則から、使用料を値上げする」が比較的多くなっています。



アンケートにご協力いただきました市民・団体の皆様にお礼申し上げます
アンケートに関するお問い合わせ / 契約管財係